

令和5年度 学院生活・ハラスメントに関するアンケート調査結果 (1回目)

1 調査概要

紋別高等看護学院では、自らの教育活動の評価を行うことや、学院生活の満足度やハラスメントの有無などを確認するため、「学院生活・ハラスメントアンケート」を年2回、全学生を対象に無記名で実施している。

2 調査対象・回収率

全学年（32名配布 回収率100%）

3 調査期間

令和5年4月から8月までの期間を対象に、9月に実施

4 調査内容

教員からのハラスメントなどの言動行為の有無や学院生活の満足度など

5 調査結果

(1) 教員からの言動・行為（複数回答）

(名)

アンケート項目	過去にされた	現在もつづく	見聞きした	ない
① 人前での感情的な叱責を受けた	1			31
② 人格否定や差別的な言葉による叱責を受けた	1			31
③ 学業に関して理由のない不当な評価を受けた				32
④ 学業の妨害や指導を放棄するような言動や行為を受けた	2			30
⑤ 私生活について過度に干渉された	2			30
⑥ 事実無根の噂をながされたり、悪口や陰口を言われた				32
⑦ 学業とは無関係と思われる私的な用件を命じられた				32
⑧ 挨拶や話しかけを無視された	1			31
⑨ 性格や容姿などへのからかいや非難を受けた		1		31
⑩ からだを小突く、物を投げるなど行為があった				32

(2) 学院生活について

(名)

アンケート項目	満足している	どちらかという満足している	どちらかという満足していない	満足していない
① 現在の学院生活に満足していますか	8	21	1	2
② 教員のサポートに満足していますか	9	18	3	2
③ 事務員のサポートに満足していますか	15	16		1

6 当学院の対応

(1) 教員からの言動・行為について

- ・ 改めて各教員が指導方法等を振り返り、学生への関わり方の改善点等を教員間で共有。
- ・ 副学院長から全学生に調査結果を説明し、不快な思い（教員の説明不足等）などがあれば、具体的な内容を意見箱に投函（匿名可）するよう呼びかけた。（11月13日現在で投函なし）

(2) 学生生活について

「満足していない」「どちらかという満足していない」について、具体的な理由を把握し、改善することを目的として、全学生に対し意見箱への投函を依頼し、結果をもって改善に努めることとする。

（11月13日現在で投函なし）